

平成 26 年度 公益財団法人 日本アイスホッケー連盟
公認アイスホッケー指導員養成講習会
開催要項

目 的

地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたるとともに、施設開放において利用者の指導支援を行う者を養成する。

講習名	日本アイスホッケー連盟 公認アイスホッケー指導員養成講習 専門科目
主催	公益財団法人日本アイスホッケー連盟
主管	長野県アイスホッケー連盟
カリキュラム	専門科目 40 時間（集合講習 30 時間、その他 10 時間） 講習及び試験の免除措置については、当該中央競技団体が定める基準による。 ※ 本講習修了者には修了証が発行され、それをもって、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員講習〔専門科目〕を修了したこととなる。
開催期日	平成 26 年 9 月 13 日（土）～9 月 15 日（月）・9 月 23 日（火）（座学・氷上実技予定）
開催場所	軽井沢風越公園総合体育館会議室 1・2（座学） 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町大字発地 1157-6 軽井沢風越公園アイスアリーナ（氷上実技） 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町大字発地 1157-6 http://www.kazakoshi-park.jp/gymnasium/index.html ※タイムスケジュールは別添日程表のとおり。
受講者受講条件	受講する年の 4 月 1 日現在、満 18 歳以上の者で、実施競技団体が定める条件。 地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で実際の指導にあたっている指導者及びこれから指導者になろうとする者。
受講者数	各競技 30 名程度とする（特に上限は定めない）。
受講申込み先	〒380-0935 長野市中御所1丁目53（株）ながのアド・ビューロ内 長野県アイスホッケー連盟事務局 佐藤 電 話 026-228-9209 F A X 026-219-1029 naganoihsato@silk.ocn.ne.jp
申し込み期限	9月5日
持ち物	コーチ用具（スケート、スティック、グローブ、笛、ウインドブレーカーなど） 筆記用具、トレーニングシューズ（野外用）、トレーニングウェア
食事	ご本人負担 ※各自でご手配ください。
宿泊	ご本人負担 ※各自でご手配ください。
受講料専門科目	15,120 円（消費税込み）受講前々日（9 月 5 日）までにお振込ください。
振込口座	「振込口座」三菱東京 UFJ 銀行 渋谷支店 普通 4263132 ザイ）ニッポンアイスホッケーレンメイ 免除・資格審査料については別に定める。

その他 本講習には受講免除条項を別紙の通り定めておりますのでご確認ください。
 ※免除対象者であっても自己知識の再確認・充実の為に受講されることをお奨め致します。

問い合わせ先 日本アイスホッケー連盟 指導者養成委員会 大北(オオキタ) 090-9006-2513
 長野県アイスホッケー連盟 理事長 中村(ナカムラ) 090-3332-4178

公益財団法人 日本アイスホッケー連盟 公認アイスホッケー指導員養成講習会 実施要項

資格の名称	公認アイスホッケー指導員
養成目的	初心者や子どもたちにアイスホッケーの基本スキル指導にあたる指導者を養成する。小学生、中学生を対象とした指導者。
役割	発育期の競技者に対して、競技者育成プログラムに則り、年代にあった運動特性を発達させ、肉体的、精神的に健康な指導を行う指導者を養成する。 地域スポーツクラブ等の指導、小・中学生の指導にあたる。
受講条件	受講年度の4月1日18歳以上の者で下記の条件を満たす者。 ・ 日本アイスホッケー連盟登録者であること。 ・ E-メールにより連絡がとれる環境を有するもの。(情報共有のため)
カリキュラム	集合 30h 通信講習 10h 計 40h
講習会の実施方法	カリキュラム(40時間)に基づき、日本アイスホッケー連盟が直接集合講習会を開催する。実際の実施計画については、日本アイスホッケー連盟と日本体育協会との相談の上実施する。
検定試験の作成及び実施方法	日本アイスホッケー連盟が作成、出題し、検定試験により総合判定とする。
合格者の判定方法	合格者の判定は全カリキュラムを受講し、検定試験により日本アイスホッケー連盟で審査の上、原則として80%以上の正解率を合格とする。
登録料(4年間)	¥20,000 [基本登録料¥10,000(新規登録料+¥3,000)/競技団体登録料¥10,000]
更新のための義務研修	※ 資格有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本アイスホッケー連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。
担当委員会	(公財)日本アイスホッケー連盟指導者養成委員会

【免除条項】

- 日本以外のアイスホッケーコーチ資格を有する者は申請し、審査後、専門科目免除を受けることができる。
- アジアリーグ、旧日本リーグの指導経験(監督、コーチ)を持っている者は、専門科目免除を受けることができる。その他のチームスタッフで希望者は日本アイスホッケー連盟に申請し審査後、判断する。
- 日本アイスホッケー連盟強化コーチで、下記の国際大会に過去4年以内に参加した者は専門科目免除を受けることができる。
 オリンピック冬季大会(男女)／オリンピック冬季大会予選(男女)／IIHF世界選手権ディビジョンI以上(男女)／
 アジア大会冬季大会(男女)／日本アイスホッケー連盟が認めた国際大会

※これらの免除条項に安全管理は含まれず、安全管理は全員が受講しなければならない。



公益財団法人日本アイスホッケー連盟 公認アイスホッケー指導員養成講習会 日程

	Saturday September 13		Sunday September 14		Monday September 15		Tuesday September 23	
	科目 Subject	講師 Lecturer	科目 Subject	講師 Lecturer	科目 Subject	講師 Lecturer	科目 Subject	講師 Lecturer
0800-0900								
0900-0950			年代別トレーニング Training by age	Saho	スケーティング講習 Skating	Okita		
1000-1050			年代別トレーニング Training by age	Saho	パックハンドリング講習 pack Handling	Okita		
1100-1150			スポーツセーフティ Sports Safety	Saho	GK講習	Shiratori		
1200-1300			LUNCH				ルールブック Rule book	Takahashi
1300-1350	公認スポーツ指導者制度 JOCゴールドプラン System certified sports leader JOC	Okita	スポーツセーフティ 実技 Sports Safety	Saho	氷上セッション ICE	Okita	ルールブック Rule book	Takahashi
1400-1450	栄養学 Nutrition	Aoyama	JPN Hockey Habit	Okita	氷上セッション ICE	Okita	氷上セッション ICE	Okita
1500-1550	栄養学 Nutrition	Aoyama	メンタル Mental	Yamaya	ティーチングテクニック Teaching technique	Okita	氷上セッション ICE	Okita
1600-1650	アンチドーピング Anti-doping	JADA Inoue	メンタル Mental	Yamaya	コーチの役割 Role coach	Okita	オフィシャル役割 Official	Takahashi
1700-1750	練習構成 Practice plan	Okita	コミュニケーションの原則 Communication Theory	Iizuka			JIHF組織・運営 JIHF Organization and management	Okita
1800-1900	コンディショニング Conditioning	Saho	SUPPER					
1900-1950	コンディショニング実技 Conditioning Practical	Saho	シュート講習 Shoot	Okita				
2000-2100	SUPPER		パスレシーブ講習 Pass and Receive	Okita				